おんがく広場 第147号

令和3年(2021) 12月8日(水)

Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい　令和2年(2020)4月10日創刊

発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一

連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

CDに録音 コロナ禍のひと工夫
男声合唱団コール・グランツ

コロナ禍でステージがことごとく中止となり、演奏の機会を失う中、多くの合唱団がその活動に四苦八苦しています。

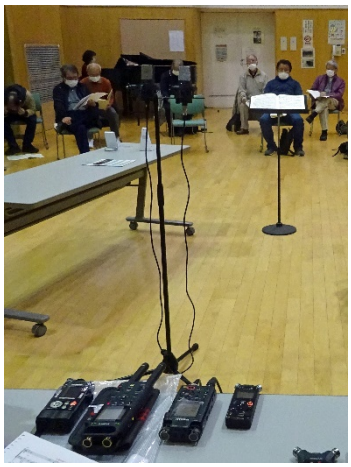
我が男声合唱団コール・グランツでは、石若雅弥編曲『**暗くて泣きたくなる男声合唱曲集 神田川**』を一応きちんと録音し、CDにまとめてコロナ禍記念として残しました。この曲集は、「神田川」「学生街の喫茶店」「五番街のマリーへ」「22才の別れ」「遠くへ行きたい」の5曲で構成されており、昭和の匂いのする懐かしいポップスです。

このうちの2曲は本年6月の埼玉県合唱祭で演奏しましたが、それ以来オンステの機会がなく、どこかで区切りをつけなくてはならなくなったため、では、きちんと演奏してCDに録音することにしました。

録音環境と装置の工夫

録音はいつも使っているコミュニティセンターのホール(通常時定員155人)で行いました。天井も高く変な反響のすくない多目的ホールです。練習時はドアを開放、大型扇風機で外に向かって排気しており、換気の目安となる

CO_2濃度は常にモニタリングしました。いざ録音となった時点でドアを一時閉鎖、空調・換気装置や空気清浄機も止めました。



できるだけよい条件とするため**コンデンサーマイク**※を2台セット、TASCAM社のレコーダーやJVC社Lesson Masterなど**リニアPCM**※方式で録音しました。

コンデンサーマイクはプロなどが本格的な録音をするときに使用するものです。

※コンデンサーマイク：ダイアフラム(金属の薄い膜)に電気を貯め、音に反応することで膜の電圧が変わり、それを信号として出力。従って、マイクへ電源供給が必要。

※リニアPCM方式：音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つ。信号の強度を一定周期でサンプリングして得られたデータをそのまま記録するもので、無圧縮の音声データとなり、可逆圧縮を行う方式に比べ音質の劣化が無いが、保存や伝送に大きな容量や帯域が必要となる。

録音データはWAV形式で保存

録音は11月の2日間に分けて行いました。もちろん全員マスク着用です。あとの編集をしやすくするため、例えば「神田川、Take1」と言ってから3秒ほど無音の状態を保ってから演奏に入ります。これは全員が演奏に加わるので録音担当は置けませんので、録音機を常時ONにしたままだからです。こうすることで、あとの編集が楽になります。

録音データはWAVファイルとして保存しました。拡張子は".wav"です。WAVはウェーブやワブと呼び、データそのものの表現形式や圧縮形式は問わず、様々な圧縮形式のデータを格納できます。

録音データは、音声編集ソフトWavePadで前後を切り取り、そこへ無音時間を追加し体裁を整えました。エコーなどを追加することもできますが、今回は生の音だけにしました。

WAVは、容量がmp3などに比べるとかなり大きく、関係者にメールで送って確認するのは困難です。そこで、ネット上の保管倉庫firestorageを介してファイルをやり取りし、出来具合を確認し、最終的にすべてTake2を採用しました。

ステージでの本番がことごとくなくなってしまった現在、少しでも緊張感を持って演奏する機会として**録音**をしました。いざ、後々に記録として残るとなれば、みな集中して歌ったことに間違いはありません。